

環境活動レポート

2013年4月1日~2014年3月31日



2014年5月10日

志太交通株式会社

目次

1. 環境方針 P - 3
2. 事業活動の概要 P - 4
3. 組織図 P - 5 ~ 6
4. 環境目標 P - 7 ~ 8
5. 環境活動計画 P - 9
6. 環境活動取組結果 P - 10
7. 環境活動取組結果の評価と見直し P - 11
8. 環境関連法規登録簿 P - 12
9. 代表者による評価と見直し P - 13

志太交通株式会社 環境方針

〔基本理念〕

当社は、一般タクシー・介護タクシー事業の発展を通して地域社会への貢献を目指し、その最重要課題として環境保全活動に取り組んでいきます。
当社コーポレートカラーのグリーンの様に、地球環境に優しい「緑の志太交通」を目指します。

〔行動指針〕

- 1 営業車両の燃料使用量を抑制し、CO₂の排出の低減に努めます。
 - ・ 急発進、急加速の厳禁等省エネ運転に努めます。
 - ・ 客待ち待機時のアイドリングストップの実施。
 - ・ 安全運転を通じて環境に配慮した運転を心がけます。
- 2 事業所内で省資源・省エネルギー、廃棄物削減、リサイクル、グリーン購入に努めます。
 - ・ 排水量の削減。
 - ・ 電気使用量の削減。
 - ・ 紙使用量の削減。
 - ・ 廃棄物の削減。
- 3 お客様の安全確保を第一に考え、環境関連法規を遵守します。
- 4 この環境方針達成のため、環境目標、活動計画を設定し、社内一体となった環境保全活動の推進に努めます。

制定 2013年1月1日

志太交通株式会社

代表取締役

鈴木 宏美

事業活動の概要

事業所名及び代表者名

志太交通株式会社
代表取締役 鈴木 宏美



所在地

本社営業所
〒426-0033 静岡県藤枝市小石川町 1-6-11
待機所
中山：〒426-0133 静岡県藤枝市宮原 556-2
千歳：〒426-0025 静岡県藤枝市藤枝 5-7-3
田沼：〒426-0061 静岡県藤枝市田沼 5-13-9

事業内容

一般乗用旅客自動車運送事業
(小型タクシー、ジャンボタクシー、介護タクシー)

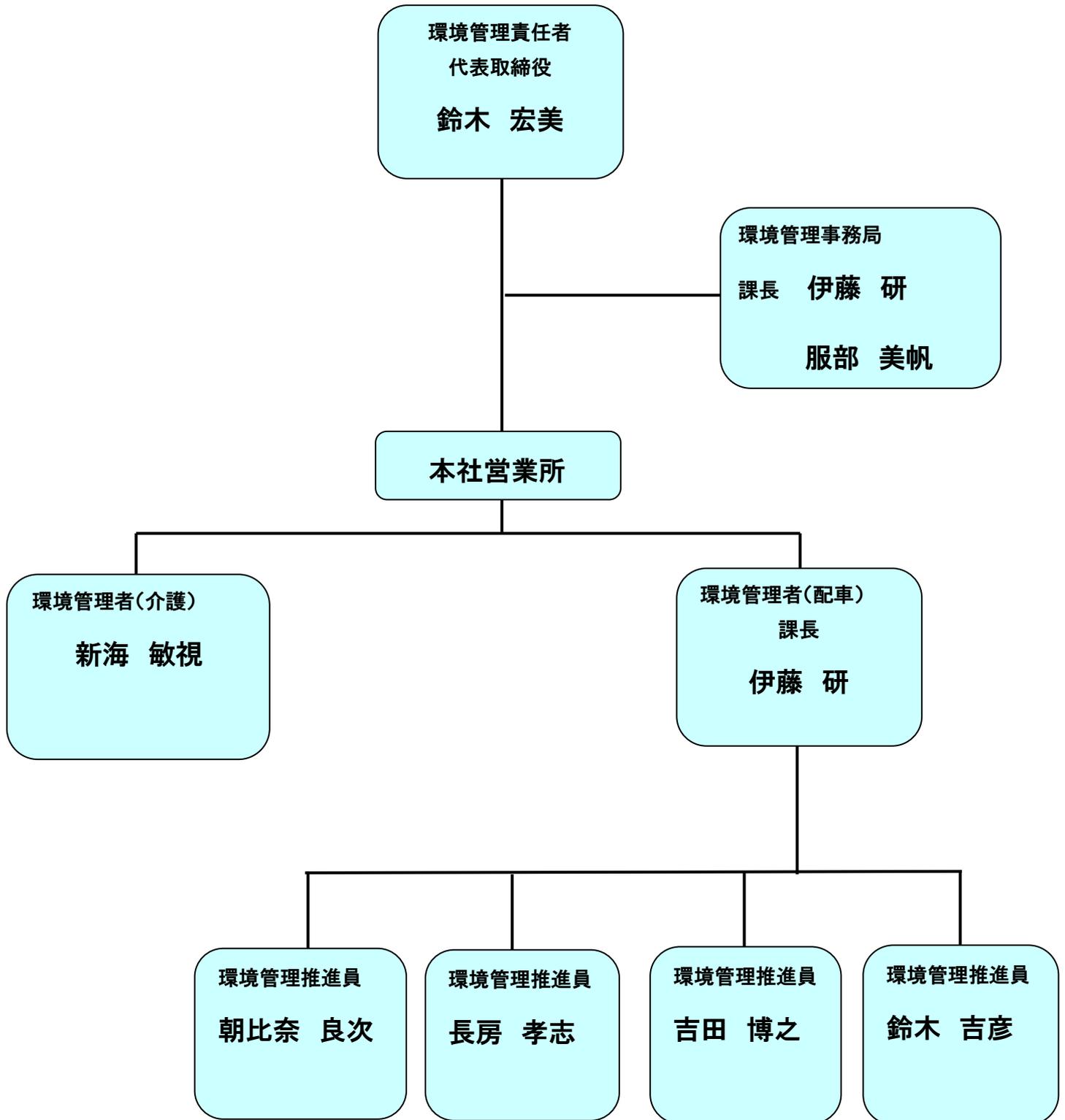
事業規模 (2013 年度)

売上高： 300 百万円
従業員数： 74 名 (内 乗務員 65 名、事務員 9 名)
事業所面積： 786 m²
資本金： 10 百万円
普通車両保有台数： 36 台
介護車両保有台数： 6 台
介護大型車両保有台数： 2 台
特定大型車両保有台数： 1 台

環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	代表取締役	鈴木宏美
環境管理事務局	配車室 課長	伊藤 研
	電話：	054-641-3677
	FAX：	054-644-1580
	ホームページ：	http://shidataxi.com
	e-mail：	sidataxi@atlas.plala.or.jp

エコアクション21 組織図



役割分担

1 代表者

- 環境経営に関する統括責任者
- 環境経営システムの実施に必要な事項（人、費用、設備、時間、等）を準備
- 環境管理責任者の任命
- 環境方針の策定と見直し
- 環境目標、環境活動計画書の承認
- 代表者による全体の評価と見直し
- 緊急事態発生時の統括

2 環境管理責任者

- 環境経営システムの構築、実施、管理
- 環境関連法規等の把握と管理
- 環境目標、活動計画書の確認
- 環境活動の取組結果を代表者に報告
- 環境活動レポートの確認

3 環境管理事務局

- 環境管理責任者の補佐
- 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- 環境目標、環境活動計画書原案の作成
- 環境活動の実績集計
- 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- 環境活動レポートの作成、公開

4 環境管理者

- 自部門の環境経営システムの実施
- 自部門の環境方針の周知
- 自部門の乗務員、事務員に対する教育訓練の実施
- 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
- 自部門の問題点の発見、是正、予防

5 環境管理推進員

- 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し自部門の教育、訓練の実施の補佐をする
- 自部門の問題点を協議し是正、予防を補佐する

環境目標

2014年度 目標数値（2014年4月～2015年3月）
2015年度以降の中期目標

		2014年度 目標及び数値		2015年度以降の目標			
		基準値	目標 (%)	目標値	目標 (%)	目標 (%)	
項目	単位	2012年度	2014年度	2014年度	2015年度	2016年度	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	505,531	-2%	495,420	-2.5%	-3%	
購入電力	kWh	39,854	-2%	39,057	-2.5%	-3%	
LPG使用量	リットル	249,339	-2%	244,352	-2.5%	-3%	
ガソリン使用量	リットル	27,467	-1%	27,192	-1.2%	-1.5%	
軽油使用量	リットル	2,567	-1%	2,541	-1.2%	-1.5%	
1両当りの走行距離(全車)	km/両	6.15	102%	6.27	102%	103%	
1両当りの走行距離(LPG車)	km/両	5.62	102%	5.73	102%	103%	
1両当りの走行距離(ガソリン、軽油車)	km/両	10.57	102%	10.78	102%	103%	
廃棄物排出量	kg	1,717	-1%	1,700	-1.2%	-1.5%	
水使用量	m ³	1,241	-1%	1,229	-1.2%	-1.5%	
グリーン購入	—	極力グリーン購入品を選定する					
お客様の声	お褒め	件	5	250%	13	300%	300%
	苦情	件	8	-15%	7	-20%	-20%

*当社ではLPGの消費量を液体（リットル）で把握している為、1リットル=0.56kgとして換算しています。

*購入電力係数は0.469を使用しています。

注)今年度は2012年度を基準値とし、2012年度実績と比較し評価する。

志太交通としての環境目標について

- 当社のエコアクション最大ポイントは、営業車 1 台当たりの L P G、ガソリン使用量削減。L P G、ガソリン使用量目標は 1 車当たりの走行距離改善をテーマにする。電気使用、水使用、廃棄物排出量削減は待機所（中山、千歳、田沼）含めた目標設定。グリーン購入は、事務用品全体の購入時に極力採用する。
- エコアクション 21 テーマの営業車両 1 車当たりの走行距離の改善と営業方針の見直しの結果（燃費改善、お客様好感度 UP、企業イメージ UP、乗務員に対する啓発等）2011 年より年 6 台ペースでプリウスを導入する。ガソリン使用量増、LPG 使用量減、トータルで C O₂ 排出量を 13 年度 18%削減する予定です。

2014 年度環境目標の見直し

- ・ お客様の声、乗務員の要望等により、導入予定のプリウスの車種見直し。13 年度よりコンフォート（LPG 車）、NV200（ユニバーサルデザイン）の 2 車種の新車導入予定。併せて、LPG とガソリンの使用量の再度見直し。
- ・ 三井住友海上火災保険に依頼し、事故緊急時対応研修、接客対応研修等の継続、前後同時録画型ドライブレコーダーの導入により乗務員の接客態度、お客様との会話、安全運転指導のツールとして活用する。

環境活動計画

1 二酸化炭素排出量の（燃料、電気）削減

- ① 全車両のエコ運転の周知徹底（担当 伊藤）
 - ◆ 不必要なアイドリングの禁止
 - ◆ 急発進、急加速の禁止
 - ◆ エンジンブレーキの積極使用
 - ◆ エアコン使用を控える
 - ◆ 毎日の車両点検確実に実施
 - ◆ 迎車、実車は最短ルートを走行



- ② 事務所内エアコン設定を夏 28 度、冬 20 度に設定（担当 新海）
- ③ プリウス導入（営業車）（担当 鈴木社長）
- ④ 不必要な蛍光灯の取り外し（担当 伊藤）



2 水使用量の削減

- ① 洗車時の節水（担当 伊藤）
- ② 井戸水の積極的な利用（担当 伊藤）

3 廃棄物排出量の削減

- ① ペットボトル、アルミ缶、スチール缶は各自持ち帰り、ゴミを出さない。（担当 伊藤）
- ② 給食時マイ箸持込奨励（割り箸を出さない）（担当 新海）
- ③ コピー用紙の両面使用（担当 新海）

4 リサイクル推進

- ① ダンボール、雑誌、古紙等のリサイクル（担当 新海）
- ② 車両整備時に発生する廃棄オイル・タイヤのリサイクル（担当 伊藤）

5 グリーン購入を推進

- ① 備品購入にグリーン購入（担当 鈴木社長）

6 独自のサービス目標 お客様の声（お褒めの声、クレーム）

2009年より、エコアクション21の取り組みの中に、独自の項目としてCS（お客様満足度）取り入れる。

（苦情、お褒めの言葉取扱基準）

- 1 乗務員がお客様よりお受けし本社に報告、もしくは直接電話でお受けした内容を専用処理簿に記入する。
- 2 お客様の声の内容は該当乗務員に必ず伝え改善点を指導する。また、他乗務員さんに参考になるケースは告知する。（社長、課長が告知）
- 3 環境管理者で内容を検討し、乗務員教育資料等に活用する。

環境活動取組結果

項目／詳細		単位	2012年度 4月～3月 基準年度	2013年度 4月～3月 目標	2013年度 4月～3月 取組結果	評価	
① 温室効果ガス 排出量	二酸化炭素 排出量	Kg - CO ₂	505,531	-1% 500,476	-0.1% 505,005	×	
	② 総エネルギー 一量	購入電力	kWh	39,854	-1% 39,455	-2.1% 39,000	○
内 訳	LPG	リットル	249,339	-1% 246,846	-2.3% 243,490	○	
	ガソリン 軽油	リットル	30,034	-1% 29,746	+8.9% 32,721	×	
③ 1 ㎞ 当 の 走 行 距 離	全車	km/㎞	6.15	+1% 6.21	+1.5% 6.24	○	
	内 訳	LPG車	km/㎞	5.62	+1% 5.68	-0.7% 5.58	×
		ガソリン 軽油車	km/㎞	10.57	+1% 10.68	+5.3% 11.16	○
④ 廃棄物排出量	*1	kg	1,717	-0.5% 1,708	-1.7% 1,687	○	
⑤ 水資源	上水道 地下水	m ³	1,241	-0.5% 1,235	-2.9% 1,205	○	
⑥ お客様の声	お褒め	件	5	+250% 13	+460% 23	○	
	苦情	件	8	-15% 7	+275% 22	×	

*1 紙類、プラスチック、廃油、可燃ごみの合計

☆ 当社ではLPGの消費量を液体（リットル）で把握している為、1リットル=0.56kgとして換算しています。（石油ガス税法施行令 第四条第二項により）

環境活動の取組結果の評価と見直し

購入電力	評価	鈴木社長、伊藤課長、新海のエコスタッフが定期的に本社内のエアコン、蛍光灯等をチェックする。エコ活動に取り組んで6年目、節電の意識が定着しています。 (今後も、エアコン使用、夏場13時～16時迄限定使用)
	見直し	そのまま推進します。
燃費 (LPG車)	評価	LPG車のコンフォート(アイドリングストップ付)3台導入、新しい試みでUDタクシー(LPG、ガソリン併用)1台導入今後も、燃費の向上に努めます。
	見直し	全車に、新しいドライブレコーダーを導入(室内カメラ付)エコ運転、サービス向上等に活用する予定です。
燃費 (ガソリン、軽油)	評価	2011年プリウス6台を営業車で導入。担当乗務員が公休の時、他の乗務員が意識的にプリウスに乗務するように心がけています。
	見直し	全車に、新しいドライブレコーダーを導入(室内カメラ付)エコ運転、サービス向上等に活用する予定です。
水道使用料	評価	各人が節水を心がけています、併せて、千歳、田沼、中山の各営業所の使用量も注意しています。
	見直し	そのまま推進します。
廃棄物排出量	評価	段ボール廃棄は、最大要因のカレンダー配布数量を30%削減(2012年度)。缶、ビン、ペットボトル等は各人がこまめに持ち帰るパターンが定着しています。
	見直し	時々、カン、ビン等の忘れ物有り。こまめにゴミ箱周辺の忘れ物確認する。
グリーン購入	評価	文房具類は全てグリーン購入に切り替え済み。
	見直し	そのまま推進します。
独自のサービス	評価	全車に、新しいドライブレコーダーを導入(室内カメラ付)エコ運転、サービス向上等に活用する予定です。
	見直し	2013年6月よりホームページに掲載しています。 新人乗務員、入社時の研修等でエコ運転、サービス向上の教育と指導。

環境関連法規の違反、訴訟等の有無

1 主な環境関連法規

適応対象	法律等の名称	該当する要求事項	点検頻度	遵守状況
一般乗用 旅客自動車 運送事業社 として遵守 する法律	道路運送法	現在 45 台の認可	登録時	2014/4/30
	道路運送車両法	車の構造、管理上の注意義務	登録時	2014/4/30
	自動車 リサイクル法	営業車の積極的なリサイクル 適正処理	廃車時	2014/4/30
	廃棄物処理法	事務一般廃棄物の削減と 適正処理 タイヤ・廃油処理業者との委 託契約書作成	年 1 回	2014/4/30
	下水道法	洗車排水の放流	年 1 回	2014/4/30
事業者全般 として遵守 する法律	環境基本法	公害防止・自然環境保全 廃棄物の適正処理 再資源等の利用 国・地方公共団体の策定に協力	年 1 回	2014/4/30
	循環型社会形成 推進基本法	廃棄物の発生抑制 循環的利用 適正処分 国・地方公共団体の策定に協力	年 1 回	2014/4/30
	地球温暖化対策 推進法	温室効果ガス発生抑制 国・地方公共団体の策定に 協力	年 1 回	2014/4/30
	グリーン購入法	環境物品の積極的購入	毎月	2014/4/30

2 違反、訴訟の有無

上記関連法規の遵守確認結果、違反はありませんでした。
尚、関連機関からの違反指摘、利害関係者からの訴訟等は過去 5 年間ありませ
んでした。

代表者による評価と見直し

2013年度は、前年度に引き続き、燃費、節電等に加えお客様へのサービスの向上に取り組んで参りました。

今年度の見直しと今後の目標を下記中心に取り組んで参ります。

- ① 10当りの走行距離の燃費は、ガソリンについては前年度達成、LPGは残念ながら目標達成できませんでした。今後は各車両1ヶ月ずつの燃費を把握し、燃費が悪い乗務員には個別に指導していきます。
- ② 車両導入については、コンフォート（LPG）に加え、車種選び、お客様ニーズにあったものとして、ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）を1台導入しました。この車は、車椅子の方は勿論、自転車、スーツケース（大4個）を積み、ステップ、手すりがあるため、お年寄りにも好評ですが、車両価格が高いため、今後の導入については検討中です。
- ③ 乗務員の資質の向上については、お褒めの言葉など前年に比べ、多く頂きましたが、反面苦情もあったので今後は、サービス向上に向けての細かい項目を定め、お客様に喜んでもらえるような、接客を目指します。

2014年5月10日

志太交通株式会社

代表取締役 **鈴木 宏美**